

# SRR/SSSシリーズ 施工手順書

**◆安全に関する重要な内容です。**

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

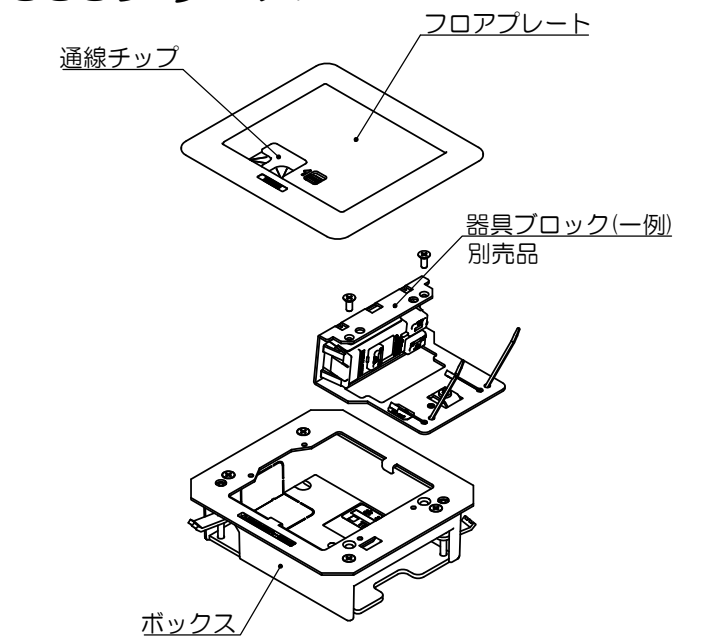
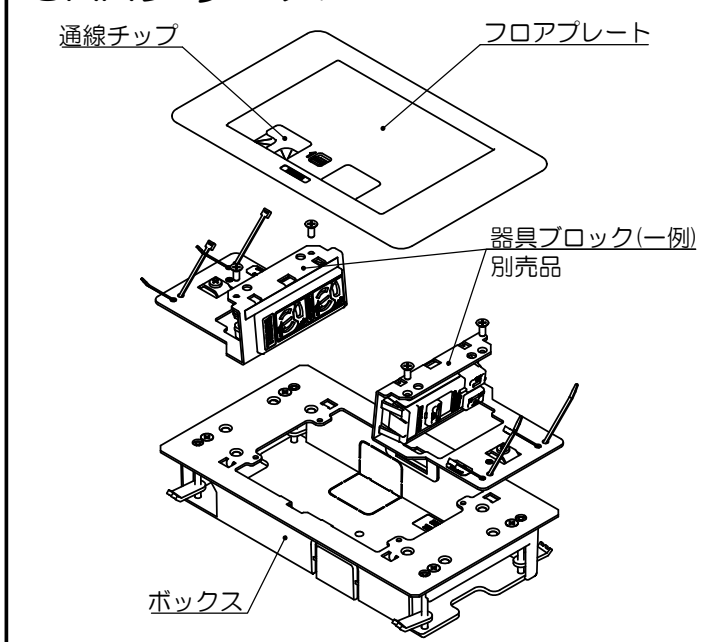
注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

<b>警告</b>	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。</li> <li>◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。</li> <li>◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。</li> <li>◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。</li> </ul>

<b>注意</b>	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。</li> <li>◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。</li> <li>◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。</li> <li>◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。</li> <li>◆床に堅固に取り付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。</li> </ul>

**◆部品構成と名称**  
**SRRシリーズ**

**SSSシリーズ**



**添付品**

プレート固定用サラネジ  
M4×9 4本  
添付場所：ボックス側面

**添付品**

プレート固定用サラネジ  
M4×9 4本  
添付場所：フロアプレート裏面

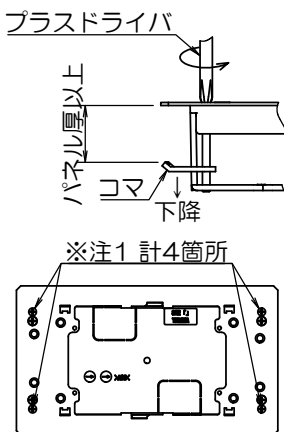
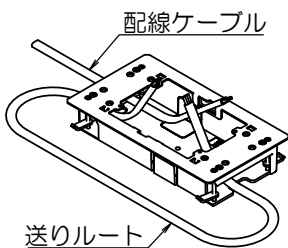
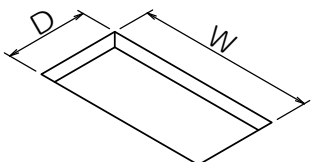
**■ お問い合わせ先**  
**株式会社TERADA**  
 東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361

# 施工方法

## 1 パネル開口寸法とケーブルの引き込み

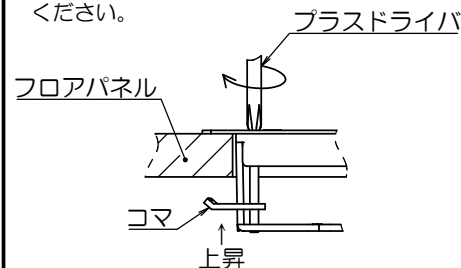
ボックス固定ネジ(M4※注1)を回し、コマがフロアパネルの厚みより下になるよう下げてください。(4箇所)  
 フロアパネルの開口部にボックスを落とし込み、ボックスを固定する前にボックス内へケーブルを引き入れてください。(送りのルートもここで形成します)

- SRRシリーズ  
 (D) 110±2 × (W) 235<sup>+1</sup><sub>-3</sub>
- SSSシリーズ  
 (D) 110±2 × (W) 140<sup>+2</sup><sub>0</sub>



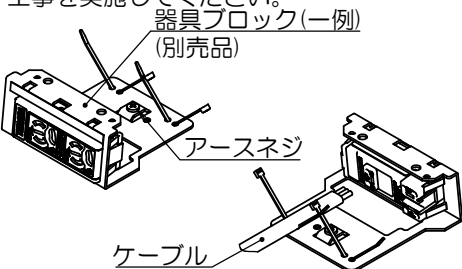
## 2 ボックスの固定

ボックス固定ネジ(M4※注1)を回し、コマを上昇させボックスをフロアパネルに固定させます。(4箇所)  
 SRRシリーズ対応パネル厚：2.5mm～29mm  
 SSSシリーズ対応パネル厚：2.5mm～25mm  
 ※フロアパネルの配線スペースに、リップ等が突出している場合がございますのでご注意ください。



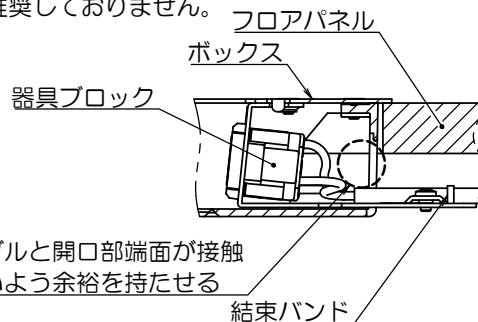
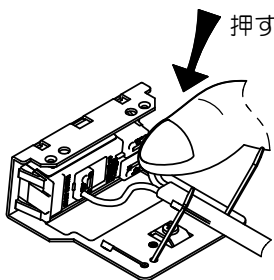
## 3 器具ブロックの結線

ボックスに引き込まれているケーブルを配線器具(別売品)に接続してください。配線方法については各器具の配線方法に従ってください。  
 強電系器具ブロックにはアースネジを設けてあります。必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。



## 4 器具ブロックの取り付けに関する注意事項

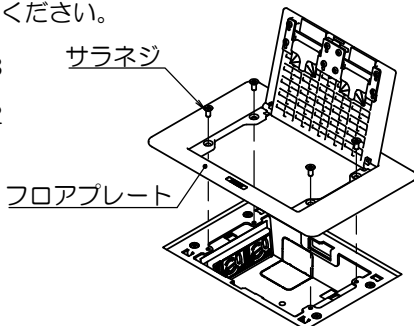
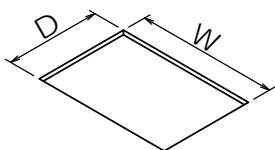
開口部端面にケーブルが接触しない様、ケーブルを曲げてください。その後、結束バンドでケーブルを保持し器具ブロックをボックスに固定してください。器具ブロックをボックスに収める際に引っかかりを感じたら無理に押し込む事しないでください。ケーブルの断線、地絡の原因になります。開口部端面の処理(バリ取り、絶縁テープ貼付等)を適切に行なってください。弊社ではフロアパネルへの新規開口は推奨しておりません。



## 5 プレートの固定

床仕上材を貼り付けた後、フロアプレートと添付のサラネジ4本で固定してください。

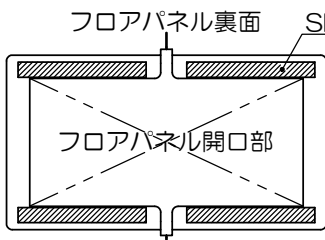
- SRRシリーズ  
 (D) 126±2 × (W) 187±3
- SSSシリーズ  
 (D) 120±2 × (W) 136±2



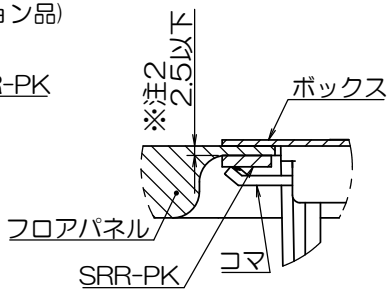
### ※コマの挟み込み箇所が2.5mm以下の場合

コマで挟み込む箇所(※注2)のフロアパネルの厚みが2.5mm以下の場合、フロアパネル裏面に別売オプション品のパッキンを貼付けていただく事でボックスを固定することができますようになります。

- OAフロア用パッキン(別売オプション品)  
 品番：SRR-PK



パッキン取付位置(4箇所)



ボックス施工状態

### ※床仕上材が5mm以下の場合

フロアプレートとボックスでフロアパネルを挟み込み固定します。  
 ※フロアパネルや床仕上材の環境によっては取り付けできない場合もございます。  
 フロアパネルと床仕上材の開口寸法は、項目5をご参照ください。  
 この方法で固定する場合、長いサラネジを別途ご用意いただく必要があります。  
 サラネジ長さは、下記計算式で計算し選定してください。  
 サラネジ長さ(L) = {パネル厚(E) + 床仕上材の厚さ(F)} + 3  
 (例) ネジ長さ(25) = {パネル厚(20) + 床仕上材の厚さ(2)} + 3



### ◆モジュラジャック組付けについて

アダプタの突起をモジュラジャックと嵌合させた後、ツメで固定します。

